

オキドキニュース 4月号



二十四節季

清明（せいめい）4日 清浄明潔の略といわれ、南東の風が吹くよい季節。

穀雨（こくう）20日 穀物を育てる雨が降り、芽を出させるという意味。

おやつ喫茶

三月八日（日）、入所ご利用者様と一緒に、ちょっと特別な「おやつ喫茶」を楽しみました。この日は、いつものおやつ時間が少しでも華やかになるように、職員もウエイター・ウエイトレス風の装いに。館内には、ふんわりと喫茶店のような雰囲気広がりました。皆さまには、事前に四種類の春らしいおやつの中から好きなものを選んでいただき、ご注文の品を職員が席までお届けしました。テーブルには笑顔があふれ、「もっと食べたいくらい」「おいしかったよ」と、うれしい声がたくさん聞こえてきました。

4種類のおやつ



合同消防訓練

当施設では、三月十八日（水）午後一時三十分から北伊奈自治会の皆さまにご参加いただき、秋川消防署の立ち合いのもと合同消防訓練を行いました。今回の訓練は、夜間に三階から火災が発生したという想定で始まりました。職員が通報や初期消火、避難誘導を行ったあと、北伊奈自治会の皆さまには非常ベルを聞いて駆けつけていただき、避難後のご利用者の介助などを中心にご協力いただきました。地域の皆さまと一緒に動くことで、「いざという時にどう助け合えるか」を改めて感じる時間となりました。



今回の訓練を通して、職員だけでなく地域の皆さまと連携しながら行動することの大切さを、あらためて実感しました。日頃から顔を合わせているからこそ、声を掛け合い、自然に動ける安心感があります。これからも地域の皆さまと力を合わせながら、より安全で温かい施設づくりを続けていきたいと思います。

準備の段階からご協力くださった自治会長さま、そして当日ご参加いただいた北伊奈自治会の皆さま、本当にありがとうございました。

オキドキ・北伊奈自治会 合同訓練の様子



令和八年度から「麺めぐり」を予定しています。お楽しみに！



四月八日はお釈迦さまの誕生日

四月八日は、「花祭り」とよばれるお釈迦さまの誕生日です。花祭りという言葉は、聞いたことがあっても、どんな行事か知らない方もいらっしゃるかもしれません。

花祭りでは、小さな誕生仏に甘茶を注いだり、甘茶をいただいたりします。これは、お釈迦さまがお生まれになったとき、九つの頭をもつ龍があらわれ、甘い雨をふらせたという古いお話にちなんでいます。甘茶には、「飲むと無病息災で過す」「目につけると目が良くなる」「甘茶で習字を書く」と上達する」など、さまざまな言い伝えがあります。



お釈迦様にまつわる三大大事

- 涅槃会 二月十五日 お釈迦様が一生を終えて日
- 花祭り 四月八日 お釈迦様が誕生した日
- 成道会 十二月八日お釈迦様が悟りをひらいた日

お花見について頃かたは？

春になると、桜のつぼみがふくらみ、気がつけば一気に花が開きます。

お花見の始まりは、今からおよそ二二〇〇年以上前の奈良時代と言われています。

当時は桜ではなく、香りのよい「梅の花」を楽しむのが一般的でした。

やがて平安時代になると、少しずつ桜が春の主役となり、八二二年には嵯峨天皇が京都で桜を眺めながら宴を開いたという記録も残っています。この頃から「春といえば桜」という考え方が広まってきました。

その後、お花見は貴族だけでなく武士や町の人々にも広がり、江戸時代には徳川吉宗が上野や飛鳥山に多くの桜を植え、人々が気軽に桜をお花見を楽しめるようにしました。お弁当を持って出かける、現在につながるお花見の形もこの時代に定着しています。

長い歴史の中で受け継がれてきたお花見は、今も変わらず春を感じる行事です。家族や仲間と集まり、春の訪れを喜び合う行事として親しまれています。

